



〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350
TEL 028-649-8649 FAX 028-649-5026 URL http://www.utsunomiya-u.ac.jp
E-mail plan@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp



豊かな発想を地域に、新たな知を世界へ

NOW

● vol.2

発行：宇都宮大学
編集：広報室

CONTENTS

- 1 OBインタビュー
- 2 特集 キャリア教育始まる
- 3 座談会「将来の進路とキャリア形成」
- 4 宇大 研究者MAP
- 5 SLOW FOOD
- 6 学生アンケート「宇大生は今！」
- 7 INFORMATION
- 8 研究 Keyword



未来に 向かって 歩いているか

ロボット研究者
ひろせ まさと
広瀬 真人

現在、キャリア教育に取り組んでいる宇都宮大学。現実の社会の中で、豊かなキャリアをもつロボット研究者・広瀬真人さんを訪ね、貴重な話をうかがうことができた。
(取材：宇都宮大学農学部1年 廣田真人)

山に登れるロボット

「入社してすぐに研究所の所長から『鉄腕アトム』をつくれと言われてたんです。車やバイクをつくっているホンダに入ったつもりが、いきなりロボットですからね」と語る(株)本田技術研究所 所長 廣瀬真人さん。中途採用で入社した30歳からロボットの研究に没頭。現在の人間型ロボット『ASIMO』が完成するまで約20年の歳月が流れた。「はじめてつくったロボットは僕の足がモデル」という。

1986年に作った初代の2本足のみの『EO』から始まる歴代のロボット11体が並ぶ『ツインリンクもてぎ』を訪れると、世界に類のない自立2足歩行を実現した『ASIMO』がゆつくりと歩いてきた。まるで子どものようにかわいいくさで、産みの親である広瀬さんと手をつないだ。
「人型ロボットで重要なのは頭と手と足の部分。80年代の日本はロボット元年といわれた時代

でした。頭は人工知能、腕は産業機械がつくっていたので、それでは足だということになった。『ホンダ』はバイクや車をつくっていますから、移動というのがひとつのキーワードになっていきます。それでは被災地にも山にも登れて移動する足をつくりたい。そうすれば人の行動範囲は大きく広がると思いました。」

教授は人生のエキスパート

広瀬さんは宇都宮市に生まれました。地元の小、中、高校を経て、教師である父親にすすめられて宇都宮大学工学部に入学。高校までは夏目漱石など、本ばかり読んでいた文学少年だった。精密工学とは何かも知らずに入った大学で、出会った恩師に強烈な影響を受け、価値観は大きく変わった。
「実習のとき、フライス盤や旋盤で、なんでこんな鉄の塊がきれいに切れちゃうんだらうと驚いた。硬い鉄が10000分1ミリ単位とかで切れちゃう。こんな

な硬いものでも正確に削れるという先生の教える理論に魅せられた。自分で何をやっていいか見えてこなかった大学生活で、この先生にたたき直してもらえば、何か見えてくるかも知れないと……。」

寝食を共にしながらの楽しくも厳しい研究室の青春を懐かしそうに振り返る広瀬さん。それは人間型ロボットをつくるという人類の夢の実現に向けての厳しい研究を貫く礎となった。
「教授には研究が進んでいないと分かるようならったり、たると分るとお尻を何十発も叩かれたりしました。勉強において、教授は師匠で僕たちは弟子だから、毎日が厳しかったなあ。しかし、人間的にはすごく愛情深く、先生から生きていく知識を学びましたね。」

教授は、人生経験豊富な大人で、学生を導くエキスパート。青年期に多大な影響を受ける先生の師と出会う、それが大学であると話す。同じ師の下で学



PROFILE
【ひろせ・まさと】1956年栃木県生まれ。昭和49年(1974)宇都宮大学入学、昭和55年(1980)同大学大学院精密工学研究科修了。工作機械メーカーを経て、1986年に(株)本田技術研究所入社。一貫して、ロボット研究に従事し現在に至る。(株)本田技術研究所 所長 廣瀬真人。

んだ大学時代のチームメイトは生涯の友となった。
「会社は成果なんてすぐ出ないんですよ。これができるんだと世界初、世界一になれるんだと思いついて、一致団結してチームでがんばった。それは大学で学んだことです。」
そして2000年、人間のパートナー『ASIMO』が完成した。首相のお供で海外に行ったり、紅白歌合戦の応援までしちゃう人型ロボットだ。
「人型ですから、結局は人を知らなければなりません。人に役立つロボット、人にあきらめられないロボットですね。」
(文：ヒオス編集部 / 撮影：木原悠輝)

キャリア教育始まる

宇都宮大学では、「生き方を考えた進路選択」「学生主体のキャリア形成」を支援するために、全学的にキャリア教育を実施しています。

キャリア教育とは

米国における伝統にこだわった職業教育や徒弟制を打開し、急激な社会変化に対応するために1971年から全米規模で展開された教育改革です。公式定義は「キャリアとは生涯を通じて行う仕事の全体」で、仕事には無給のボランティアや家事育児・介護等も含まれます。当時の教育省マランド長官は、全米中等学校長協会年次大会(1971年)で、「職業教育というのをやめ、キャリア教育とよぼう。全ての教育はキャリア教育であるべき」と提案しました。

我が国では

近年、若者の就業問題が当時の米国の状況と似ていることから、キャリア教育がクローズアップされています。特に、ニートやフリーター、早期離職者には在学中にそのきざしがあると指摘されています。「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議」(2004年)は、キャリア教育とは端的に「児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てる教育」とし、「学校のすべての教育活動を通して推進する」と提言しました。また、政府は、「若者自立・挑戦プラン(キャリア教育総合計画)」を強化し、若者の職業的自立の推進を全国的に展開しています。

宇都宮大学では

入学当初から「生き方を考えた進路選択」へと発想転換し、学生主体のキャリア形成を可能にするため、次の三本柱により支援しています。

全学共通キャリア教育

今年度から開講した共通教育科目「人間と社会」「キャリアデザイン」では、生きることに働くこと等について取り上げ、グループワークなどで多角的で柔軟な思考力、書く力等をつけています。「ベンチャー起業論」では、ビジネスプラン、インキュベーションの仕組み等について

て講義と演習を行います。なお、来年度は科目を増やす予定です。

学部キャリア教育

学部オリジナルの専門科目によるキャリア教育です。特に、インターンシップは、教育効果の向上と進路決定等の絶好の機会と位置づけられています。

全学型プロジェクト

国際キャリア・合宿セミナー、キャリアフェスティバル、学生

国際学部

インターンシップの取り組み

従来から授業にインターンシップ要素を取り込んでおり、平成14年度から学部共通専門科目「国際学インターンシップ」を開講(1~4年次)しています。その目的は、民間企業、NGO、自治体等の実習で職業選択への目を養い、勉学に具体的な動機づけをし、キャリア形成の第一歩とすることです。授業はインターンシップの心構えやノウハウを教える事前指導、体験発表を行う事後指導からなります。海外での実績はZDFテレビ局(赤十字ドイツ)、SVAシカゴ、シャントイ(タイ)等です。

教育学部

学外実務体験として、教育実習と博物館実習を単位化しています。教育実習は教員養成課程の必修科目として、附属学校の観察実習(2年次1週間)、附

工学部

学生には、専門科目教育の効果が上がる、社会への適応能力が高まる、職業を選ぶ能力が身につく等のメリットがあります。学生が自分自身を改めて知ることができると、他では得難い重要な教育効果です。工学部では、附属ものづくり創成工学センターが全学部の窓口となり、毎年200社を超す受入企業と希望学生とのマッチングに力を注いでいます。昨年まで各学科の専門教育科目「学外実習」



「キャリアデザイン」の授業 グループワーク風景

として実施してきましたが、今年からは工学部共通専門科目「インターンシップ」として実施しています。

農学部

今年度から全学科のカリキュラムを変更して、生物生産インターンシップ、農業環境工学インターンシップ、農業経営インターンシップ、森林インターンシップを開講しています。実習先の実績は、農林水産省、水資源開発公団、栃木県林務部、県内の林業家、農協、全国畜産農業協同組合連合会研究牧場、民間牧場、民間畜産会社、農業機械・施設関連企業、調査・設計コンサルタント等です。

共通教育(自由科目)

自由科目では、インターンシップを実務体験活動として位置づけています。学生自身で実習先を設定し、企業等との手続きの窓口は就職支援室です。単位認定を希望する場合は、事前に単位認定申請書を提出し、終了後の報告書により審査され、単位が付与されます。

(宇都宮大学教授・キャリア教育センター長 宮崎冨子)

「人間と社会」

受講生の声



先生が材料を提供し、学生が考え、答えを見つける授業。全学部の個性の違う学生が、同じ資料を見ても、辿り着く答えは一人ずつ違うが、恐れずに自分の考えを主張できる。未来のために自分は何をしたらよいかと見つめ直し、普段気づけなかった新しい自分に気づいたこともあった。(工学部1年男性)

複眼的視点を持ち、刺激のシャワーを浴び続けている先生の講義は、時には実社会の裏をバツサリと切り、時には母としての体験を赤裸々に開示し、これからの社会の荒波にもまれる学生にとって船頭であり灯台となる。この講義で社会の一端を垣間見て、暗い闇の中で波を感じることができる。社会に出る前のバタ足の練習ができる。(農学部1年男性)

先生が一方向的に話すのではなく、学生とコミュニケーションをとりながらの講義で、参加しているという実感がある。自分の将来や就職について深く考えることができる。1年生からこのような授業があったら、今の私はもっと変わっていたかもしれない。(教育学部3年女性)

知識を与えられるのではなく、「考え方」を学ぶことができる。この講義では、自分で導き出せない考え方を提示してくれる。やるべきことに追われる生活の中で自分を見つめ直し、「なぜ学ぶのか」を考える時間がこの授業には充分ある。それにより、今までこなすだけだった私の「学び」を、意味を持つものにしたいたいと思うようになった。(国際学部3年女性)

2005年度 宇都宮大学キャリアフェスティバル

わたしの未来をさがそう

「自分さがし」をしませんか? 仕事に関する情報満載!

宣言

宇都宮大学はあなたの「チャレンジ」を大切にします

日時 2005年7月23日(土) 10:00~16:00

会場 宇都宮大学 1223教室 (峰キャンパス共通教育B棟2階)

- 内容
- (1) 10:00~16:00 就職活動に関する相談・資料配付
 - (2) 11:00~12:30 チャレンジ・ビデオ 「広がる未来!私が選ぶ「チャレンジする女性たち」」 (内閣府制作30分3回上映)
 - (3) 13:00~13:10 挨拶 宇都宮大学 学長 田原博人
13:10~14:10 基調講演「未来を拓くキャリアデザイン」 宇都宮大学教授 キャリア教育センター長 宮崎冨子
 - (4) 14:20~15:50 シンポジウム「就職活動に成功するコツ」 シンポジスト/国際学部・教育学部・工学部・農学部卒業生コーディネーター/宇都宮大学教授 茅野甚治郎

主催 宇都宮大学
共催 内閣府
後援 栃木県、(社)栃木県経営者協会、(株)下野新聞社、(株)栃木放送、(株)とちぎテレビ
宇都宮大学各学部同窓会(国際学部・教育学部・工学部・農学部) 宇都宮大学学生後援会
協賛 宇都宮大学消費生活協同組合
対象 学生、高校生、企業、一般の方

直接会場にお出かけ下さい(無料)

当日は、宇都宮大学オープンキャンパス開催中です

お問い合わせ先: 宇都宮大学学務部就職支援室
TEL 028-649-5104

「将来の進路と キャリア形成」

近年、クローズアップされている「キャリア教育」。本学では、入学当初から「生き方を考えた進路選択」をモットーとして、キャリア形成支援に取り組んでいます。ここでは、将来の進路やキャリア形成について、学生たちのさまざまな思いを語ってもらいました。

宇都宮大学に決め 今、味わう充実感

宮崎 こんにちは。きょうは、みなさんの進路やキャリア形成について聞かせて下さい。まず、進学先を宇都宮大学に決めた時のことや入学後についていかがですか。

牧内 高校では定められた授業を聞くだけで、時間も制約されていました。大学に入ったら、高校の時より自由だなという思いがあります。そして、いろいろなことを自分で決められるくらいいいなと思っています。進学先を決めた時、高校の先生とどんな話をしたか詳しく覚えていませんが、自分のやりたいことができる学科があり、宇都宮大学へは自分で決め、受験しました。

三瓶 自由を重んじる高校だったので、勉強もそれほど強制されませんでした。私は、将来何をすべきかということもよく分からず、なかなか決められずいました。その時に、草花が好きな曾祖母の優しさを思い出しました。また、植物の光合成の働きに感激した中学生の頃のこと

を思い出して、植物に関わる学部を考えました。宇都宮大学は身近な存在でしたし、農学部があるということを決めました。宮崎 2年生の山本さんは？

山本 単純に大学の授業と高校の授業を比べることはできませんが、生き方を考えるというより、大学に進学するためといういうカラーが強かったように思います。

実際に大学に入ってから、自分の言動に「責任をもつ」という言葉が加わりました。2年生になると専門的な科目も増え、さまざまなことが学べるのでとても充実しています。そして、今いろいろな道が見えつつあります。でも、「これに決めた」というのはまだです。

宮崎 蓮池さんはいかがですか。蓮池 高校の時は大人数で受ける授業ばかりでしたが、大学では少人数の専門的な授業が加わりました。3年生になってから少人数の授業の楽しさというものが分かってきました。授業内容も先生主導ばかりではなく、学生も積極的に参加し発表できるので、その充実感は高校では得られないものです。

刺激のシャワーを浴び
考える習慣をつける

宮崎 キャリア教育の原点は、子どもが親の職業に関心をもったり、近所の肉屋さんや八百屋さん等のさまざまな仕事により社会生活が成り立っていることを理解し、感謝することから始まります。学校教育では、発達段階を考慮した勤労観・職業観

が育成されています。本学では、共通教育で「人間と社会」「キャリアデザイン」「ベンチャー起業論」を開講しています。授業では、自分らしい生き方を念頭におき、考える習慣をつけ、自力でキャリア形成することを目指しています。

蓮池 「人間と社会」の時間では、自分の将来についていろいろ考えることができました。特に、先生の「刺激のシャワーを浴びる」という言葉が印象に残っています。たしかに、人間は刺激されて成長していくものだと思います。それから、進路相談をしてみても、すぐには効果が出なくても、答えに繋がるヒントが得られた感じがしています。

三瓶 私も一人であれこれと考えていましたが、進路相談を受けたら頭の中が整理されて、悩んでいたことの解決策がみえてきたし、考える幅が広がりました。

山本 卒業生たちが、自分が学んだ授業を生かせる企業に就職できているかという点、必ずしもそうではないと思うんです。また、女性の立場から考えると、企業の表面だけでなく、男女雇用機会均等に配慮している企業を探したいと思います。

宮崎 就職支援室では毎日のように企業からの求人票を張り出し、新しい情報は全面的に開示しています。学生のみならず、その情報を基に自分で考え、行動に移していく必要があります。ですから、就職ガイダンスにはぜひ参加してください。もちろん、就職支援室では、各学部と連携し、多角的な利用方法をさらに工夫していきます。

それぞれの未来を支援する
キャリア教育でありたい

宮崎 まとめとして、みなさんの将来の仕事や職業について聞かせてください。

三瓶 私は将来、屋上緑化事業等の緑地事業に関わりたと思っています。高校時代には聞けなかった専門の関連事項も、大学では多くの先生方からたくさん聞くことができ、とても参考になります。いずれは植物を利用して、さまざまな環境問題に取り組みでみたいと考えています。

蓮池 僕は国際学部ですが、環境問題に興味をもっています。環境やリサイクルって、どっちかといえば理系の分野ですよね。でも、僕はこの国際学部で学んだ知識を生かし、グローバルな視野で環境問題に取り組みたいと思っています。たとえば、ゴミ問題はどの国でも避けて通れません。日本は高いリサイクル技術をもっているのです。その技術や発想を中国や他の国々にも広めていきたいです。

山本 私環境問題に取り組みたいです。こんなに技術が発達しているのに、ほとんどの人がそれを実感していないというのが現状だと思います。たぶん意識の違いがあって、なかなか浸透せず、日常生活の中で一人一人の行動に継続性がみられないのでしよう。ですから、政治・経済・法律・倫理等も含む社会の側面から環境問題を見て、優れた技術や環境への取り組みを伝えるシステムをつくれたらと考えています。

宮崎 宇都宮大学では、一人ずつの将来の進路・生き方を支援するキャリア教育でありたいと考えていますので、大学の教育資源を大いに活用してください。みなさんのこれからの活躍に期待しています。本日はありがとうございました。



日時 2005年6月30日(木)
出席者 蓮池 健男(国際学部国際文化学科4年)
山本佳奈子(教育学部環境教育学科2年)
牧内美由紀(工学部建設学科1年)
三瓶 尚子(農学部生物生産学科1年)
宮崎 冴子(宇都宮大学教授・キャリア教育センター長)



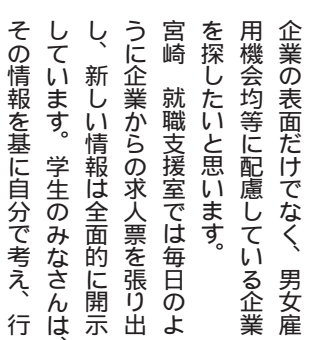
宇都宮大学教授・キャリア教育センター長
宮崎 冴子



農学部 1年 三瓶 尚子



工学部 1年 牧内 美由紀



教育学部 2年 山本 佳奈子



国際学部 4年 蓮池 健男

宇大研究者MAP

MAPシリーズ vol.2

東北自動車道
那須高原SA
上河内SA

「観光の利便性」工学部 森本章倫 助教授

- 事業名 「東北道スマートIC社会実験」
- 内容 ETC専用の出口を高速道路のSAに設置することで、観光シーズンの渋滞緩和や地域の利便性を向上させることをねらっています。県内では那須高原SA、上河内SAで実験がスタートしました。栃木県土木部と連携し、平成17年4月22日から8月28日の期間活動しています。詳しくは次のHPより (<http://www.switto-tochigi.jp/>)

「環境保全」農学部(演習林) 小金澤正昭 教授

- 事業名 「地域の緑環境を守るグリーンスタッフ活動等支援事業」
- 内容 地域における自主的な森林・緑作り活動の中心的役割を担う指導者やリーダーなどの人材(グリーンスタッフ)の養成が社会的にも多く要望されています。大学演習林は、栃木県林務部と栃木県緑化推移機構と共同でグリーンスタッフの養成に力を入れています。栃木県林務部造林課みどり推進担当と連携し、平成15年度から活動しています。

「欧米式環境問題対策」国際学部 高橋若菜 講師

- 事業名 「栃木県山岳地域の森林被害と酸性雨対策:欧米の経験を参考に」
- 内容 日光をはじめとする栃木県の山岳地域で近年見られる大規模な森林被害は、首都圏をはじめ東アジア地域で放出される大量の大気汚染物質と関係している可能性が大きい。そのため、栃木の山々の酸性雨被害を軽減するには、県内の対策のみでは対処できず、県境さらには国境を越えて、被害を抑制するための体制を整える必要があります。本研究では、欧米における国際酸性雨対策の経験を参考に、栃木県の酸性雨被害を抑制する方策を検討します。

「シカの研究」農学部(演習林) 小金澤正昭 教授

- 事業名 「奥日光におけるシカによる植生への影響、変移プロジェクト」
- 内容 大学と栃木県との研究交流プロジェクトの一環として、奥日光においてニホンジカの植生への影響を明らかにすることを目的として、奥日光に定点調査方形区を設置し、異なった復元手法をとりながら、植生の変化を継続的に調べています。栃木県林務部林業センター、同県民の森管理事務所と連携し、平成16年度から活動しています。

「ツキノワグマの研究」農学部(演習林) 小金澤正昭 教授

- 事業名 「栃木県におけるツキノワグマの生息状況調査」
- 内容 栃木県が策定を予定している栃木県クマ保護管理計画に必要な栃木県内のクマの生息数を把握するために、ヘアトラップ法と体毛から得られたDNAの分析から生息数を推定しようとしています。栃木県林務部自然環境課、同県民の森管理事務所と連携し、平成17年度から活動しています。

「国際交流」国際学部 佐々木史郎 教授

- 事業名 「日光における朝鮮通信使記念事業への支援と国際交流」
- 内容 ずっと韓国の人文地理を研究してきた関係で、地域の日韓交流のお役にたてばと思ひ、平成15~16年度に文部科学省の交付金と日光ユネスコ協会および日光市の後援を得て標記の事業を実施しました。とくに江戸時代の日本で貴重な国際交流の機会となった同通信使の意義を多方面から考える一連の公開講座「朝鮮通信使と日光」では、日韓の著名な研究者を招いた講演会と地元に関連史跡をめぐるスタディツアーが好評を博しました。

「エコファーム」農学部(農場) 柏寄勝 講師

- 事業名 「オープンエコファーム(開放型有機栽培試作挑戦圃場)」
- 内容 農場に設けた2年間無農薬、無化学肥料栽培の畑50a、水田20aを使用し、本事業参加者が自由に作付け管理する面積42m2の個人担当地と、共同で野菜類等を管理する畑35a、水稲有機栽培を行う水田20aで、無農薬・無化学肥料・有機栽培を目指したエコファームを開設しました。有機農業を目指す農家、新規就農希望者、学生および有機栽培・食の安全安心・地産地消に興味ある消費者を対象に応募者を募り、現在37名の参加者が土日を中心に非常に活発な活動を展開しています。

「体験教室」農学部(農場) 柏寄勝 講師

- 事業名 「お米と果物とミルクの不思議体験教室」
- 内容 「豊かな学び」子ども体験支援事業の一環として、周辺市町在住の小学生とその保護者を対象に、農場の圃場・作物・家畜・施設等を積極的に活用した体験型農業教室を開催しています。本年度は「お米と果物とミルクの不思議体験教室」と銘打って、お米と果物コース、ミルクコースの2コースを開設しました。参加希望者が予想を大幅に越えたため厳正な抽選を行い、お米と果物コース:29家族(76名)、ミルクコース:15家族(38名)の参加者が6月~10月の月1回(土曜日)行い、毎回子ども達の歓声が溢れています。

「勉強会」農学部(農場) 柏寄勝 講師

- 事業名 「園芸講習会」
- 内容 小中学校等の教員を対象に、植物栽培の基礎的な知識の習得を目指す講習会を実施しています。本事業は、生命の尊さや環境の大切さ教育の一環として現在小中学校等で積極的に取り組まれている空き空間を生かした植物栽培を、専門的立場からバックアップする事業です。植物栽培の基礎的な知識やノウハウの伝授、さらにはコンサルティングまで、現場教員の皆さんの広い要望に対応しています。本年は大内東小学校(真岡市)で開催し、小中学校教員16名の参加がありました。

「エコ」農学部 吉澤伸夫 教授/石栗太 助手

- 事業名 「木製パレットのリサイクルに関する研究」
- 内容 宇都宮大学農学部において木材を研究するグループでは、今年度から、宇都宮市の青果市場の木製パレットのリサイクルに関する研究を行います。青果市場では、各産地からさまざまな野菜が集まります。その際に、運搬の利便性から、木製のパレットが用いられます。この木製のパレットは、現在では、リサイクルができず、焼却処分されています。我々の研究グループでは、焼却処分をしない、新たな活用方法を、宇都宮市及び宇都宮市青果市場の業者とともに研究を進めています。

「体験教室」工学部 入江晃巨 助教授

- 事業名 「楽しい電子工作教室」
- 実施期間 10月~12月(予定)詳細未定
- 内容 ものづくり体験を通して工学や電気に関する興味をもってもらうことを目的として近隣の小・中学生を対象に簡単な電子工作教室を実施しています

「新システム開発」

工学部 小笠原悟司 教授、船渡寛人 助教授

- 事業名 地域新生コンソーシアム研究開発事業 「高調波を含む受変電設備の損失評価・高効率設計システムの開発」
- 内容 連携企業:(財)栃木県産業振興センター、宇都宮大学、関東特機(株)(小山市)の産学官の研究開発事業で、国からの補助金を得ています。パワーエレクトロニクス応用機器の普及に伴って、電力系統に流入する場合の損失発生メカニズムは、未だに解明されていません。本研究開発では、高調波電流による損失を分離計測できる装置を開発し、このメカニズムを簡易に解析する手法を開発します。また損失低減の補償装置のシステムを開発します。

「栃木版ガイドライン」工学部 森本章倫 助教授

- 事業名 「大規模小売店舗の出店に関する交通ガイドラインの作成」
- 内容 大規模小売店舗立地にかかわる交通の栃木版ガイドラインの作成をしています。平成17年10月から施行される改正大店立地法にあわせて、地域の独自基準が必要となっています。栃木県商工労働観光部と連携し、平成16年より活動しています。

「交通システム」工学部 森本章倫 助教授

- 事業名 「宇都宮におけるLRTの3次元シミュレーションの作成」
- 内容 宇都宮で導入が検討されている新交通システム(LRT)が、大通りを走った際の景観を3次元バーチャルリアリティで再現し、市民の理解を図っています。宇都宮まちづくり推進機構と連携し平成15年より活動しています。

「アーバンフリンジ農業」農学部 津谷好人 教授

- 事業名 文部科学省「地域貢献特別支援事業」 「宇都宮市アーバンフリンジ農業構想」
- 内容 「ココロの豊かさ」が求められるポストモダン社会への移行過程にある今日、農の有する公益的機能を生かし、宇都宮市民の生活上の精神的便益を満たす、新たな農業のあり方について検討したものです。その結果は、「市民が創る「農の都 食の都」うつのみや」を基本コンセプトとする「宇都宮市食料・農業・農村基本計画」に反映されました。平成15年度より活動しています。

「プログラム開発」教育学部

- 事業名 「継続的な現職教員研修プログラムの開発と実施」
- 内容 那須塩原市(旧黒磯市、旧西那須野町)、宇都宮市、那須町、栃木市の教育委員会または教育センターと連携し、校内研修を継続的にサポートしたり、現職研修のあり方や構成についてアドバイスしたりしています。大学教員と教育委員会との共同研究会を毎年継続して成果と課題を確認し、次年度に生かしています。平成11年度から活動しています。

宇都宮大学で行っている地域に根ざした研究や地域との連携事業は、この他にもたくさんあります。もしかしたらあなたの街でも……。MAPシリーズ「宇大研究者MAP」、次回もご期待ください!



SLOW FOOD

益子の陶芸家「濱田庄司」とパースティ

皆さんご存知の漫画の名作「美味しんぼ」(雁屋哲作・花咲アキラ画/小学館)には、陶芸家であり、美術家、総合的な芸術を追求する「海原雄山」という人物が登場します。美食家でもある海原雄山は、食に関してもメチャメチャ厳しく有名です。「美食も芸術の一つ!」「人を呼んでおいて、こんなもの食わせるとは!」といった、彼のものすごい名セリフを覚えている方も多いでしょう。

実は、栃木県の益子にも海原雄山のようなスゴイ人がいました。その人の性格は、海原雄山に比べてずっとずっと穏やかだったそうですが……。その人の名前は濱田庄司。今回のスローフードの紹介は、その濱田庄司がこよなく愛した料理「パースティ」の紹介です。

栃木県にはいろいろな観光地があります。その中でも県南東部に位置する益子は、県外からも特に人気が高い場所の一つです。緑豊かでのどかな風景が漂う益子は、焼きもののふる里として多くの観光客が訪れます。特に、春、秋の陶器市には、県内外より約50万人もの観光客が訪れます。

益子は、陶芸家として二人の人間国宝を輩出しています。そのせいかあって、益子は高い芸術の香り漂う町として位置づけられています。二人の人間国宝の一人が濱田庄司(1894年~1978年)です。濱田庄司は、大正9年に益子に移り住み、登り窯(傾斜地に連続的に作られた窯)を築いて制作活動に専念し、日常台所用品であった益子焼を芸術品として世界に知らしめた陶芸家です。

偉大な陶芸家がそうであるように、濱田庄司は、衣食住すべてにこだわりを持って生きていました。また、濱田庄司は東京に育ち海外で暮らした陶芸家であるため、当時の生粋の工芸家とは異なる生き方の創造への意欲がありました。益子は当時、近代文明の中心である東京まで約100kmと近い割には、土着の文化を保ち続けていました。そのため濱田庄司は、益子を文明と文化の両方に関わることのできる理想の場所と考えていました。そして、この益子を、織物や木工などのさまざまな職人が暮らす工芸家村にすることをイメージし、農村と融和した理想郷にしたいと考えていたようです。



濱田邸敷地内に建てられた益子参考館の入口

濱田庄司は、若い頃、英国の陶芸家バーナード・リーチとともに、英国南西部コーンウォール州セント・アイブスで3年間過ごしました。このことが、濱田庄司の工芸の基本となり、「よき工芸品は健やかな暮らしから必然に生まれてくる」という濱田庄司の基本理念が培われました。

この英国滞在中に濱田が幾度となく食した料理がパースティなのです。パースティは、コーンウォール地方の郷土料理で、コーニッシュ・パステイとも言われています。形状は、あたかもラグビーボール型のジャンボ餃子。牛肉、じゃが芋、かぶなどを細かく刻んで、これをパイ生地で包み、オーブンで焼いたものです。パースティは、泥が手についていても食べやすく、昔、この地方のスズ鉱山人夫たちのお弁当として重宝されていました。セント・アイブスで陶芸に励んでいた若き日の濱田庄司も、たびたびこれを口にし、陶芸への熱い志と、あつあつのパースティを海風と地ビールで冷ましなが、英国の地の果てで数年間過ごしたといわれています。

その後、日本に戻った濱田庄司は益子に定住しました。食にもこだわりを持つ濱田庄司は、和枝夫人の協力のもと、本場の味を思い出しながら試行錯誤を重ねてできあがったパースティを、益子でたびたび食しました。

濱田庄司の次男晋作氏の妻映子夫人のお話によると、濱田庄司は、酒やタバコは吞まず、三度のきちんとし

た食事を常としていました。また、濱田庄司はガスの火による調理を嫌い、炭による加熱調理にこだわっていました。来客も多く、そのたびごとに食事の用意がとても大変だったそうです。使用するバケツもプラスチック製ではなくブリキ製……というこだわりを持っていた濱田庄司は、料理のためのガスレンジの導入を遅らせていたようです。でも、科学技術を全て否定するわけではなく、家電メーカーに勤める陶芸ファンによる寄贈によって、冷蔵庫は早くから使われていました。

濱田家でアレンジされたパースティとオリジナルのパースティの違いは、具の中に大根を入れることです。どうしてそうなったのかは定かではありません。英国生まれのパースティは大根を入れることによって、とてもジューシーな日本人好みの味付けになりました。濱田家バージョンのパースティは、日本のテイストを含むパースティなのです。

当時から濱田家では、パースティで用いる具をできるだけ益子内で調達してきました。近所づきあひも広がった濱田庄司は近くの農家とのつながりも深く、いろいろな食材を試すことができたのでしょう。英国の郷土料理が半世紀あまりの時間をかけて、日本の食文化と融合してできあがったパースティ。また、その材料のほとんどが、益子を中心とした農産物です。この濱田庄司が作り上げたパースティは、時間をかけて作り上げられた栃木の貴重なスローフードと考えられます。また、パースティは、益子を中心としたおいしい料理の一つとして、定着しつつあるようです。

もしも当時の濱田庄司が納得した味を、今の世の中に再現したければ、当時の栃木の農産物や、調理方法などの再現が必要になってくるでしょう。そのためには、益子を中心とした豊かで安全な食材を生み出す食生産環境、それを取り囲む里山の保全技術、また手軽に炭で焼く料理を可能にする食品工学技術などが必要となります。また、食べ物の味は、科学的な成分だけでなく、食べる人の経験や感性、またその環境によっても大きく変わります。濱田庄司が納得した味を再現するためには、濱田庄司が生きていた当時の文化や芸術、国際的な背景を理解することも必要になります。

スローフードをきっかけとした大学での教育や研究の取り組みは、海原雄山のように味に厳しかった濱田庄司が食した同じパースティを、同じ味、同じ気持ちで食べることができる……。そんな夢のようなことが実現できる契機となりえるのではないのでしょうか。

(敬称略)



濱田映子さんの手作りパースティ。シンプルな味付けが美味しい

濱田映子さんのおいしいパースティ・レシピ

【材料】約大5個分

生地 小麦粉(中力)500g ラード60g
ベーキングパウダー10g 卵黄(光沢だし)1個分
具 牛肉もも250g 玉ねぎ中1個 大根大1/4本 にんじん中1本
じゃが芋250g 湯、サラダ油、塩、コショウ適宜

【作り方】 具を作る。具の材料をすべて約1cmの角切りにして油をひいた鍋で炒める。

火が通ってきたら塩、コショウで調味し冷ましておく。

生地を作る。小麦粉、ベーキングパウダーをふるい、人肌ほどの湯、ラードを加えよく混ぜる。

耳たぶ程度の硬さになったら濡れ布巾に包み、休ませる。

具を包む。手粉を常にふるいながら作業をする。手の平に納まるくらいボール型をつくり、楕円につぶし、さらに伸ばして棒で楕円に伸ばす。

片側に具をのせて中央で折り返し、具を包む。

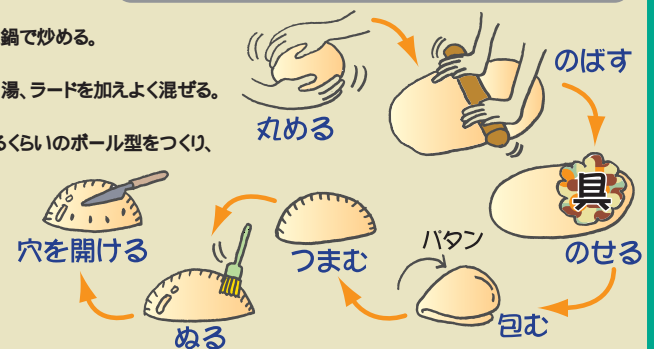
ふちを餃子のようにつまみ、水で溶いた卵黄を刷毛で塗る。

ナイフで空気穴を開ける。

焼く。バターを塗った天板にのせ、予め温めておいたオーブンで焼く。200℃で15分。うっすらと焼き色がついたら出来上がり。

紙に包んで手に持つと食べやすい。ミルクティーやワインと良く合います。

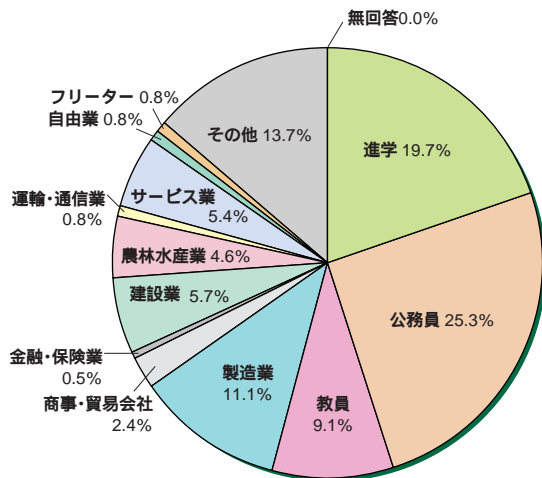
濱田映子さんにご紹介いただいたパースティのレシピです。パースティは、冬にとれる材料が多いので寒い時期のほうが合っているようですが、夏にビールと一緒に食べるのもおいしそう。あなたも、パースティを食べて若き濱田庄司の息吹を感じてみてはいかがでしょう? 作るのがめんどくさい……という人は、益子に行ってみてください。パースティを出すレストランがありますよ。



学生アンケート

宇大生は今!

将来はどうしたい?



今回は、各学部・各学年の学生にアンケートをしました。親御さんや卒業生・在学生の皆さん、どう思いますか?

Q 『将来はどうしたい?』

公務員志望が最も多く、その次が進学となつていきます。やはりこのご時世、安定している公務員は人気のようです。学部別に見ると、農・国際学部は公務員が第1位、工学部は進学が第1位、教育はもちろん教員が第1位と、各学部の特徴がよく出ています。

2位以降は、商事・貿易会社、製造業、農林水産業など各分野の職業が見られました。

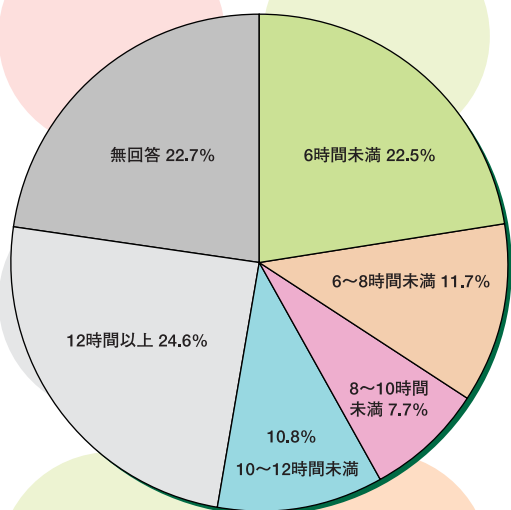
悩みは誰に相談する?

- 友人・知人
- 父母
- 兄弟・姉妹
- 保健管理センター
- 指導教員

やはり「友人・知人」と答えている人が6割を超えてトップでした。続いて「父母」「兄弟・姉妹」など家族と答えた人は約2割と意外と少ない数字でした。これは一人暮らしの学生が多く、家族と接する時間が少ないからかもしれません。

Q 悩みは誰に相談する?

アルバイトは週に何時間?



1週間のアルバイトに従事している時間は、6時間未満が22.5%、12時間以上が24.6%で両極端に分かれました。前者は、お小遣い程度稼げれば良い人、後者は、生活費・授業料の一部又は全部を自分で稼いでいる人、貯金をしている人、趣味にお金をかけている人たちでしょうか?

卒業生の皆さん、自分の頃と比べていかがでしょうか?

Q アルバイトは週に何時間?

朝食はどうしてる?

- 1位 家で食べる
- 2位 自炊している
- 3位 食べない
- 4位 コンビニ等で購入
- 5位 学内食堂で食べる

我が子の健康を一番に願っている親御さんにとっては、最も心配なことでしょう。

結果では、自宅生の多くは家庭で食べてきているようです。また自宅外生でも自炊している人は多いですね。しかし、同じく多くを占めるのが「食べない」という28.2%。朝食は一日のエネルギーです。しっかりと勉強するために朝食は食べるようにしましょうね。

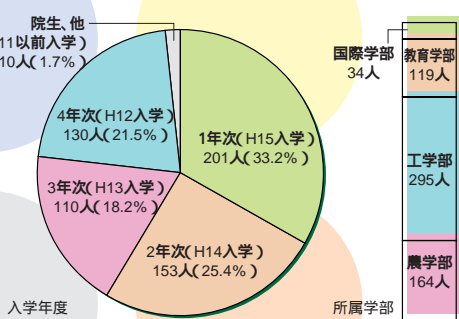
また、昼食についても同じく聞いてみたところ、学食で食べるという人が半数以上で、「食べない」という人はわずか2%でした。宇大の学食(生協食堂)は「安くておいしくて安全!」ですから、親御さんも安心ですね。

Q 朝食はどうしてる?

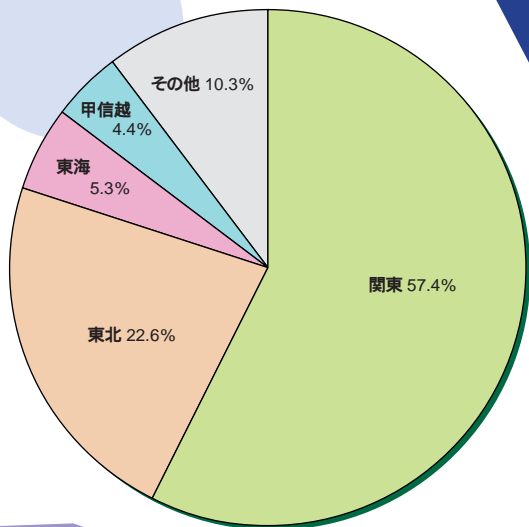
あしがき

新しい季節になり、気持ちも新たに生活がスタートした中、アンケートにご協力して頂きました新入生・在校生の皆さんありがとうございました。

調査日：平成17年度 前期



出身地はどこ?



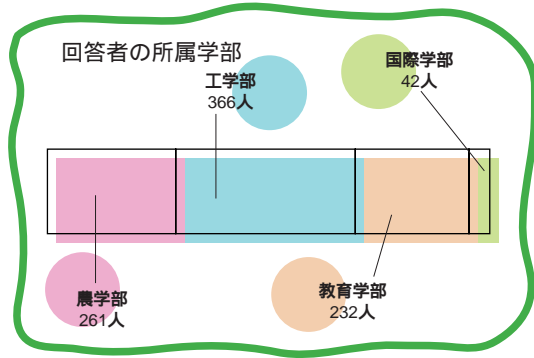
特別編

新入生は今!

Q 出身地は?

今年度の新入生の出身地を調べたところ、約6割の人が関東出身、次いで東北出身が約2割と関東から北に多いことが分かりました。

栃木県は東北にも近く首都圏にも近いという立地条件があるためなのかもしれません。



Q 大学生生活の目的は?

「大学生生活の目的は?」と聞いたところ、その学部学科の専門的学問や研究をしたい、友人を作りたいなど、新入生の大学生活に対する期待あふれる答えが聞かれました。

大学生生活の目的は?

- 第1位 関心ある専門的学問や研究をすること
 - 第2位 友人を持つこと
 - 第3位 職業に役立つ高度な専門的知識を身につけること
 - 第4位 生活を楽しむこと
 - 第5位 豊かな教養を身につけること
- その他……
学歴や資格を取得すること
サークル活動に力を入れること 等

オモシロ回答

- 今書いている小説を完成させること
- 人生の寄り道

サマーキャンプ 参加者募集

IT Summer Camp 2005 (ITSC2005)
宇都宮高等学校SSHエレクトロニクスキャンプ

日時：2005年7月26日(火)～29日(金)
9:30～16:30

場所：宇都宮大学・工学部・電気電子工学科内
(4F会議室, 3F 4-303号室)

参加費無料 (事前申し込みが必要)

お問い合わせはこちらまで
川田重夫教授 (kwt@cc.utsunomiya-u.ac.jp) TEL/FAX 028-689-6080
事務局：渡辺 (t022390@cc.utsunomiya-u.ac.jp)
TEL/FAX 028-689-6081

発表コンクール

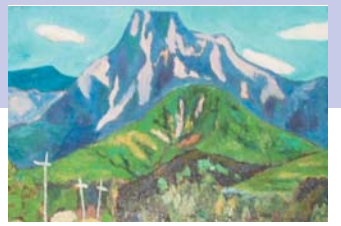
2005「ITと社会」
発表コンクール

高校生によるIT社会への提言

日時：2005年8月5日(金)
12:45～17:30(開場・受付 11:30)

場所：宇都宮大学工学部
アカデミア・ホール

入場無料



お問い合わせはこちらまで
宇都宮大学工学部情報工学科「ITと社会」発表コンクール実行委員会
TEL/FAX 028(689)6265 E-mail: itcon@is.utsunomiya-u.ac.jp
<http://www.is.utsunomiya-u.ac.jp/itcon/>

講演会 聴講者募集

2005年 8 月 1 日(月)

第6回 教育実践講演会

入場無料

日時：2005年8月1日(月) 9:10～12:00

会場：宇都宮大学学生会館 2階多目的ホール

対象：小・中・高等学校教員、教育関係者、学生等

主催：教育学部附属教育実践総合センター、日本教育工学協会、栃木県情報教育研究会、
宇都宮市小学校教育研究会情報メディア教育部会、宇都宮市中学校教育研究会情報教育部会

タイムスケジュール

8:45 / 受付 9:10 / 開会挨拶

9:20 / 研究発表

宇都宮大学教育学部 助教授 川島 芳昭

宇都宮市立横川中学校 教諭 川中子 靖

10:00 / 教育実践講演

講演講師 村瀬康一郎(岐阜大学総合情報メディアセンター教授)

講演内容 ITで変える学校教育



お問い合わせはこちらまで
宇都宮大学教育学部附属教育実践総合センター講演会係 〒321-8505 宇都宮市峰町350
TEL 028-649-5388 / FAX 028-635-0652 <http://et.mine.utsunomiya-u.ac.jp>

ポスター発表・講演会

応用化学公開セミナー2005 in 宇都宮

日時：2005年8月30日(火)

10:00～14:00 ポスター発表

14:30～16:30 特別講演

場所：栃木県総合文化センター

参加費無料

参加自由、当日受付

団体の参加の場合はあらかじめご連絡下さい

お問い合わせはこちらまで
宇都宮大学工学部応用化学科公開セミナー実行委員会
TEL 028-689-6177
<http://www.chem.utsunomiya-u.ac.jp/index-j.html>

卒業研究・修了研究公開発表会

2005年度 宇都宮大学教育学部音楽教育専攻
大学院教育学研究科修士課程音楽教育専修

入場無料

日時：2006年2月11日(土) 時間未定

場所：宇都宮市文化会館小ホール

対象：一般

募集人員 ホール定員 500席(500名)

お問い合わせはこちらまで
宇都宮大学教育学部音楽教室
TEL/FAX 028-649-5357
E-mail: music@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

修了・卒業制作展

2005年度 宇都宮大学教育学部美術教育専攻
大学院教育学研究科美術教育専修 修了・卒業制作展

期日：2006年2月24日(金)～26日(日)

場所：栃木県総合文化センター ギャラリー

対象：一般

内容：絵画、彫塑彫刻、デザイン

(インテリアデザイン・

ベーシックデザイン) 工芸(漆・染)等約50点

入場無料

お問い合わせはこちらまで
宇都宮大学教育学部美術教育教室
TEL 028-649-5360
FAX 028-649-5244 (総務係)

金曜イブニングセミナー

金曜イブニングセミナーは最先端の科学技術や社会の出来事をわかりやすく説明していただくものです。今回は、著しい発展を遂げているタイやベトナムのビジネス状況を中心に、今後のアジア進出の方向性を熱く語っていただきます。

日時：2005年9月16日(金) 17:30～19:00

場所：宇都宮大学工学部アカデミアホール

講演：株式会社アイ電子工業 高橋徳経社長

受講料無料

「最新のアジアビジネスについて」

講演会の後、生協にて懇親会(有料・¥1,000)も予定しています。

お問い合わせはこちらまで
宇都宮大学地域共生研究開発センター広報室
TEL 028-689-6316 / FAX 028-689-6320 E-mail: chiiki@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

国際キャリア・合宿セミナー2005

公開シンポジウム

日時：9月23日(金) 13:30～16:30

場所：栃木県青年会館(コンセーレ)

基調講演：『世界の平和と国連』明石 康氏

(スリランカ問題担当日本政府代表・元国連事務次長)

パネル討論会：「国際社会における日本人の活路と存在感」

合宿セミナー

期日：9月23日(金)～9月25日(日)

会場・宿泊：栃木県青年会館(コンセーレ)

参加費：¥15,000 定員 80名(先着順)

内容：講師(NHK解説主幹 柳澤秀夫氏 他7名)による講演と

ワークショップ形式による分体会 etc.

お問い合わせはこちらまで
宇都宮大学就職支援室 担当：井澤
TEL 028-649-5084 E-mail: syusyoku@miya.utsunomiya-u.ac.jp



イラスト / 山中桃子

研究 Keyword

「東アジア共同体」は可能か

国際学部 伊藤 一彦

PROFILE

東京大学教養学部教養学科卒業 / 東京大学大学院国際関係論専門課程博士課程満期退学 / 専門分野：近代東アジア国際関係史



宇都宮大学国際部教授 伊藤 一彦

最近、「東アジア共同体」ということばに触れる機会が多くなりました。EU(ヨーロッパ連合)やNAFTA(北米自由貿易協定)など地域の連携が強化される中、東アジアの諸国も結びつきを強め、ある種の共同体を形成することにより、それらに対抗しようとしているかのようです。

東アジアとは、どこを指すのでしょうか。現在、東アジア共同体が論じられるとき、すでに定期的な会合を持っているASEAN(東南アジア諸国連合)、インドネシア・マレーシア・フィリピン・シンガポール・タイ・ブルネイ・ベトナム・ラオス・ミャンマー・カンボジア)+3(日本・中国・韓国)の13カ国が主な対象とされますが、そうするとほぼ東北アジアと東南アジアをあわせた地域ということができます。拡大EUを考えると将来は、北朝鮮・台湾・モンゴル、それからインド・バングラデシュ・パキスタンなどの南アジア諸国が入ってくることも考えられます。

最近、「東アジア共同体」ということばに触れる機会が多くなりました。EU(ヨーロッパ連合)やNAFTA(北米自由貿易協定)など地域の連携が強化される中、東アジアの諸国も結びつきを強め、ある種の共同体を形成することにより、それらに対抗しようとしているかのようです。

東アジアとは、どこを指すのでしょうか。現在、東アジア共同体が論じられるとき、すでに定期的な会合を持っているASEAN(東南アジア諸国連合)、インドネシア・マレーシア・フィリピン・シンガポール・タイ・ブルネイ・ベトナム・ラオス・ミャンマー・カンボジア)+3(日本・中国・韓国)の13カ国が主な対象とされますが、そうするとほぼ東北アジアと東南アジアをあわせた地域ということができます。

EU(ヨーロッパ連合)やNAFTA(北米自由貿易協定)など地域の連携が強化される中、東アジアの諸国も結びつきを強め、ある種の共同体を形成することにより、それらに対抗しようとしているかのようです。東アジアとは、どこを指すのでしょうか。現在、東アジア共同体が論じられるとき、すでに定期的な会合を持っているASEAN(東南アジア諸国連合)、インドネシア・マレーシア・フィリピン・シンガポール・タイ・ブルネイ・ベトナム・ラオス・ミャンマー・カンボジア)+3(日本・中国・韓国)の13カ国が主な対象とされますが、そうするとほぼ東北アジアと東南アジアをあわせた地域ということができます。

laboratory

それに冷淡であることは得策とは言えないでしょう。

日本の場合、中国や韓国など近隣諸国との関係が、最近とみに悪化していますが、こうした問題を解決するためには、当事国の直接の交渉だけでなく、時には、東アジアというより広い地域レベルで解決を図ることを考慮してよいのではないのでしょうか。領土紛争も、一挙に国際司法裁判所に持っていくのではなく、その前に地域の問題として検討することが解決への近道になることがあるかもしれません。困難な点を数え上げればきりがありません。はじめから高いレベルを目指すのではなく、可能な所から、少しずつ提携を深めていく、そうすることで近隣諸国との関係改善を図り、その結果として東アジア共同体が形成されることが望ましいと考えます。

宇都宮大学は来る8月、独立行政法人日本学生支援機構主催財団法人みずほ国際交流奨励学財団共催の助成公募事業として「東アジア共同体の可能性をさぐる」という国際大学交流セミナーを実施します。交流協定締結校であるモンゴル国立人文大学と国立政治大学(台湾)の学生(引率教員を含む)を招聘し、宇都宮大学の日本人学生および留学生とともに、教員による講義や学生の意見発表を交え、約2週間にわたりこの問題を徹底的に討議しようとするものです。初日は、外部の専門家による基調講演を公開で行いますので、多くの方の参加を期待しています。

おまたせしました。UU now 第2号をお届けします。新入生を迎えて早3ヶ月あまり、4年生はそろそろ就職活動も一段落かと思えます。そこで今号では、ホンダのロボット、アシモくん、学生諸君がこれから大学でそして人生で目指す道、つまり、「自立」への道案内をお願いしました。あわせて皆さんの自立を手助けする大学からの道標も紹介しています。楽しんでください。

編集長 吉田和文(理事)

企画・編集 宇都宮大学広報室 UU now 2号編集委員

編集長 吉田 和文 理事

編集委員 佐藤つかさ 国際学部4年生 具志堅有美 国際学部2年生

広報室では、皆様の声をお待ちしております。ご意見・ご要望などをお寄せください。

【宛先】 宇都宮大学 総務部 総務課 企画広報係 〒321-8505 宇都宮市峰町350 TEL 028-649-8649 FAX 028-649-5026 E-mail plan@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

馬 潔 国際学部2年生
中山 未来 農学部3年生
廣田 真人 農学部1年生
石浜 昌宏 国際学部教員
佐々木英和 生涯学習教育センター教員

池田 宰 工学部教員
野口 良造 農学部教員
国府田 治 総務部職員
茂木 博 総務部職員
五月女優子 総務部職員
田代 真一 学務部職員

編集後記
2005.Summer

宇都宮大学、みずほ財団、日本学生支援機構 共催セミナー

「東アジア共同体の可能性をさぐる」

一般公開講演会のお知らせ **入場無料**

基調講演 講師：清水 学氏(一橋大学教授、元宇都宮大学教授) ユーラシア論専攻
日時：8月1日(月)午後1時30分～3時
会場：宇都宮大学学生会館多目的ホール

特別講演 講師：天児 慧氏(早稲田大学教授) 東アジア政治論専攻
日時：8月10日(水)午前10時30分～12時
会場：宇都宮大学国際学部B棟1223教室

お問い合わせは：宇都宮大学国際交流課企画係 手塚まで
TEL 028-649-5105